

●研修カリキュラム

基本的には、農業関係の高等学校、農業大学校、短大及び大学を卒業していない人を対象とした**基礎的な内容**です。

講義・演習・校外学習は、原則として、火曜日又は木曜日のいずれかに行います。

また、講義・校外学習等は、雇用創出農業研修と合同で行います。

区 分	科 目	時間	内 容	対 象
共通	開 講 式	3.0	校長あいさつ、オリエンテーション、自己紹介	全コース
	就 農 支 援	36.0	就農経営計画作成、プロジェクト、個別面談等	
	閉 講 式	6.0	校長あいさつ、就農経営計画・プロジェクト発表	
	履修時間小計	45.0	日数換算 7.5 日	
学 科	講義	農業情勢と愛知県の農業	世界の食料事情と日本の農業情勢、愛知県の農業の特色	全コース
		農 業 と 環 境	農業が環境に与える影響、環境に配慮した農業生産	
		農 産 物 の 流 通	農産物の流通経路、市場システム	
		農 作 業 安 全	農作業事故の発生原因と防止対策	
		農 業 経 営 の 基 礎	農業経営の概念、経営計画、経営管理、決算書	
		農 業 簿 記 の 基 礎	仕訳帳の基礎、決算処理、棚卸台帳、減価償却表の作成	
		税 制 の 基 礎	所得税、消費税、相続税、固定資産税の概要、青色申告	
		農産物のマーケティング	マーケティングの概念、構成要素、経営戦略	
		経 営 (財 務) 分 析	複式簿記の意義、経営分析、会計と税務、分析の方法	
		農 業 情 報 の 利 用	農業情報の収集、分析、利用、発信	
		食 育 概 論	食育の概念、健康増進、食事バランスガイド、野菜の効用	
		農産物のカラーコーディネート	色彩の基礎、言葉(イメージ)と色の関係、配色の基礎	
		相 手 に 伝 え る 話 し 方	わかりやすい話し方のポイント、聴き方、言葉の選び方	
		先 輩 農 業 者 か ら の 提 言	農業者の思い、日本農業の実体と課題、将来展望	
		プ ロ ジ ェ ク ト 活 動 の 意 義 と 進 め 方	プロジェクト活動の意義、展開過程、種類、効果	
		植 物 生 理	植物の構造、植物と無機栄養、光合成、植物の成長	
		雑 草 防 除	雑草の種類と生態、除草技術	
		病 害 虫 の 診 断 と 防 除	農作物の病害と診断・防除	
			農作物の害虫と診断・防除	
		農 薬 の 正 し い 使 い 方	農薬の基礎知識、ポジティブリスト制度、安全使用	
		土 壌 肥 料	土壌の生成・種類・構成、土壌の物理的・化学的性質	
			肥料と施肥、作物・土壌条件に見合った施肥設計技術	
		環 境 保 全 型 農	土づくり、減化学肥料栽培技術	
			病害虫の発生予察、減農薬栽培技術	
		農 業 気 象	農業気象の基礎	
	演習	土 壌 診 断	土壌診断の基礎、サンプリング、分析・診断	
	講義	花 き 栽 培 概 論 ・ 各 論	花き栽培の基礎、花き栽培の実用的技術	花き
		作 物 栽 培 概 論	作物(水稻、麦、大豆)栽培の基礎	作物
		作 物 栽 培 各 論	作物(水稻、麦、大豆)栽培の実用的技術	
		果 樹 栽 培 概 論	果樹栽培の基礎	果樹
		果 樹 栽 培 各 論	果樹栽培の実用的技術	
		野 菜 栽 培 概 論 ・ 各 論	野菜栽培の基礎、野菜栽培の実用的技術	野菜
	履修時間小計		135.0	日数換算 22.5 日

区 分 ・ 科 目			時間	内 容		対象
学 科	講義	農 地 制 度 の 基 礎	1.5	農地の現状、制限事項、農地の貸借		希望者
		農 業 金 融 制 度 の 概 要	1.5	制度資金の種類と目的、種類別の利用方法		
		就 農 支 援 制 度 の 概 要	3.0	新規就農者の動向、就農計画認定制度、就農支援資金		
		新規就農するためのノウハウ	3.0	意志決定、就農準備、計画、農地の取得、就農後のこと		
		市町村における就農支援	1.5	豊田市における事例(農ライフ創生センター)		
		新 規 就 農 者 の 経 験 談	3.0	就農準備、就農後の実情、農業への思い		
	演習	専 門 高 度 化	24.0	花(2回)・作物(1回)・果樹(2回)・野菜(3回)の栽培等に関する最新の専門的な知識・技術		
		パソコンによる農業簿記(操作編)	9.0	パソコンによる農業簿記の実務		
		農産物販売のためのブログの作成	9.0	農産物販売のための上手な写真の撮り方とブログの作成		
履修時間小計			0.0	日数換算 0.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
校外学習	研 修 部 ・ 校 外 学 習		(18)	先進農家(農業法人・新規就農など)、農業総合試験場など		希望者
	花 き 専 攻 ・ 校 外 学 習		(24)	先進農家(鉢物・切花など)など		
	作 物 専 攻 ・ 校 外 学 習		(24)	先進農家(農業法人など)、カントリーエレベータなど		
	果 樹 専 攻 ・ 校 外 学 習		(24)	先進農家(ナシ・イチジク・ブドウ・カキ・ミカンなど)など		
	野 菜 専 攻 ・ 校 外 学 習		(24)	先進農家(メロン・キュウリ・ナスなど)など		
	履修時間小計			0.0	日数換算 0.0 日 (ただし、希望者分は含まず)	
合計			180.0	日数換算 30.0 日 (ただし、希望者分は含まず)		
実 習	どちらか選択	自 己 ほ 場	600.0	自己ほ場で実習		全コース
		先 進 農 家	600.0	先進農家で実習(ただし、先進農家は各自で選定する。)		
	履修時間合計			600.0	日数換算 100.0 日	
資 格 ・ 免 許 等	資格	大 特 免 許	18.0	大型特殊免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)		希望者
	技能	大 特 ト ラ ク タ 作 業	24.0	耕起作業等作業機の操作方法及び農業機械の構造、整備等の知識習得		
	資格	け ん 引 免 許	24.0	けん引免許(農耕車限定)取得のための講習 (別に試験を受ける必要あり)		
	技能	初 小 心 者 の 機 械	18.0	小型機械の整備、点検、安全利用等の知識・技能習得		
	資格	小 建 型 車 両 系 機	12.0	バックホー等の知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	技能	農 業 機 械 士 等	12.0	農業機械利用技能に関する知識・技能の習得 (大特免許などの要件あり)		
	資格	ア ー ク 溶 接	18.0	アーク溶接の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		
	資格	刈 払 機	6.0	刈払機の取り扱い、知識及び基本操作等の技能習得、修了証の取得		

注1: 午前の部8:50～10:20、10:30～12:00、午後の部13:00～14:30、14:40～16:10

注2: 取得可能な資格・免許(ただし、別途受講料・手数料など必要です)

大型特殊免許(農耕車限定)、けん引免許(農耕車限定)、小型車両系建設機械特別教育修了証、アーク溶接特別教育修了証、刈払機安全衛生教育修了証

注3: 内容等は、都合により変更することもあります。